

留学先国名 : イギリス

留学先学校名 : Coventry University

留学期間 : 平成 26 年 9 月 29 日～平成 30 年 5 月 8 日

5月中旬に全てのテストと課題が終了し、留学3年目(学部2年生)を終えました。2年生は1年生に比べ、課題やテストの難易度も上がり、良い成績を取ることに苦労しましたが、無事に全てのモジュールをパスすることができました。全体の成績を見るともう少し頑張れた部分もありますが、モジュールによっては納得のいく成績も取れました。3年生はとても忙しいそうなので、来年はもう少し計画性を持って課題とテストに取り組みたいと思います。

学業以外では、昨年11月からレストランでKitchen Porter(皿洗い)のアルバイトを始めました。アルバイトの簡単な仕事ではありますが、海外でも英語を使って働き、お金を稼ぐということができるようになって、少し自信がつかえました。海外で働く機会はなかなかないと思うので、学生ビザで労働できる国に留学中の方にはできる範囲で是非アルバイトを試みるのが良いと思います。テスト準備のため、4月下旬に辞めましたが、良い経験になりました。

今年の1月からはIPC(国際パラリンピック委員会)のソーシャルメディアの翻訳ボランティアと留学先の街で行われるイベントなどをサポートするコベントリーアンバサダーというボランティアを始めました。ソーシャルメディアの方ではIPCのFacebookアカウントに投稿される英語の文章を翻訳し、Facebookの日本語ユーザー向けに日本語の投稿をしています。コベントリーアンバサダーの方では、今年1月に東京オリンピックの関係者の方がコベントリーにあるリコーアリーナ(ロンドンオリンピックのサッカー競技で使用された)の視察に来られていたので、プレゼンテーションやスタジアムの見学に共に参加しました。CV(英文履歴書)の内容を充実させるためにも、引き続き色々なボランティアに参加して行きたいと思います。

今年の夏は、6月上旬から下旬まで、アルビレックス新潟シンガポールというサッカークラブでインターンシップに参加する予定です。Jリーグのアルビレックス新潟の下部組織でシンガポールに拠点を置くサッカークラブです。卒業後もこちらに残りたいため、ヨーロッパのサッカークラブや国際スポーツ連盟、スポーツ関連企業を中心に、この夏に参加できるインターンシップを探し、様々なアプローチをしましたが、最終的にはこちらでインターンのポジションを得ることはできませんでした。アルビレックス新潟シンガポールではスポンサーシップセールスやサッカースクール、トップチームの試合やその他イベントのお手伝いをさせていただく予定です。初めてのインターンシップですが、色々な経験をして、少しでも卒業後の進路に繋がられるように頑張りたいと思います。

その後はイギリスに戻り、7月中旬から下旬までポーランドのヴロツワフで行われるワールドゲームズ2017のボランティアに参加予定です。役割はメディアアシスタントですが、詳しい業務内容はまだ未定です。8月上旬から中旬までは一旦日本に戻り、まだ確定はしていませんが、可能であればスポーツメディア関連の企業でアルバイトをする予定です。8月中旬から下旬までは台湾で行われる台北ユニバーシアード

2017 のボランティアに参加し、その後日本に帰国します。

合否次第では、7 月上旬にハンガリーのブダペストで行われる、世界水泳のボランティアにも参加するかもしれませんが、現在のところ確定しているものは以上です。世界陸上やその他インターンなど、参加できなかったものもたくさんありますが、参加できる範囲で、たくさんの経験を積みたいと思っています。

今年の夏の予定を決めるにあたっては、去年の夏からボランティアやインターンシップ探しを始めました。海外の大学は夏休みが長いことが多いので、休暇中にできることを早めに考えておいた方が良いと思います。インターンシップ探しでは自分の興味のある組織や企業に CV（履歴書）やカバーレター（自分が何をしたいか、何ができるか、企業にどんな貢献ができるか等を書いた手紙）を送り、インターンシップの受け入れが可能かどうか、確認しました。海外ではビザの関係やそもそもインターンシップの受け入れをしていない等で断られることが多かったですが、自分から行動しないことには何も見つからないので、海外で働くことに興味のある方はダメ元でも送ってみる価値はあると思います。ボランティア探しでは、僕の場合、スポーツに興味があるため、ウィキペディアのスポーツ大会一覧を確認し、そこからオフィシャルサイトに入り、ボランティア募集のページを探るか、なければメールで問い合わせしていました。ボランティアは意外に募集しているところが多いので、見つけやすいと思います。

全てのボランティアとインターンを終え、帰国後の 9 月は一ヶ月間、卒業論文や最終学年の課題・授業の準備期間に充てたいと思います。最終学年は学業に加え、卒業後の進路を決める時期で大変忙しくなると思いますが、留学生活最後の一年を悔いのないように過ごしていきたいと思っています。